

☂ 東京スカイツリー

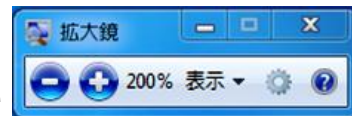


先月22日、ついに『東京スカイツリー』が開業しました。高さ世界一（634m）を誇る東京スカイツリーは、工事期間約3年半、総事業費約650億円を投じて建設された電波塔です。第1展望台『天望デッキ』（約350m）と第2展望台『天望回廊』（約450m）を備えており、第2展望台からはお天気の良い日には関東一円を見渡せるそうです。曇りの日も、低い雲は地上300mくらいまで下りてくるため東京の真ん中で雲海が見られるということ。デザイン監修をされた元東京藝術大学学長で彫刻家の澄川喜一氏によると、東京スカイツリーのモデルになっているのは法隆寺の五重塔とのこと。1300年以上もの間地震にも台風にも耐えてきた五重塔は、中央にある1本の心柱（しんばしら）と、その周囲の心柱には触れていない数本の支柱とで組み上げられています。心柱と支柱が触れていないことで、地震や風による揺れを吸収しているのだそうです。この技術が東京スカイツリーにも生かされていて、直径8mの心柱と3本の支柱が構造の中心となっています。また、五重塔の五重目から突き出た部分は装飾を兼ねた相輪が重しとなって動かしにくくなっていますが、東京スカイツリーもこれと同じく、アンテナの部分は油圧ダンパーや揺れを戻すバネなどを使って動かないようにすることで、耐震性を高めています。さらに、東京タワーなどが板材を使っているのに対し、強度の高いパイプ材を使用し、しかもパイプ同士を「ボルト」ではなく溶接により繋ぎ合わせることで、より高い強度を実現したそうです。デザイン的には、足元の一辺68mの正三角形を上部に向かって徐々に正円に変化させていく過程で、日本の伝統美である“凹”（凹状）と“凸”（凸状）が取り入れられたことにより、角度によって形が違って見えるだけでなく、太陽の光を受けた時にタワー全体の色合いが微妙に変化するという不思議な魅力ももたえています。展望デッキの入場券は、7月10日まで完全予約制で既に抽選予約は終了していますが、7月11日以降分は当日券の他、インターネットでも予約ができます。詳しくは、東京スカイツリーWebチケット（<http://ticket.tokyo-skytree.jp/>）でご確認下さい。



☂ Windows 7 の『拡大鏡』

以前からWindowsには画面の一部を拡大して表示する『拡大鏡』という機能がありました。画面のボタンが小さくて見えづらい場合やプレゼンなどをする場合にとても便利な機能です。これがWindows7ではとても使いやすく進化していますのでご紹介。『拡大鏡』を起動するには、[Windows]+[+]キーというショートカットキーが便利です。起動させると右上図のような拡大鏡ツールバーが表示され、**+**（または[Windows]+[+]キー）で100%ずつ拡大、**-**（または[Windows]+[-]キー）で100%ずつ縮小します。**表示**で“全画面表示”“レンズ”“固定”の3種類の表示モードの切り替えができます（ショートカットキーでの切り替えも可）。各モードの説明は下表の通り。デフォルトは“固定”になっています。



全画面表示	画面全体を拡大表示
レンズ	虫眼鏡で画面を見ている感覚でマウスポインターの周囲を拡大
固定	固定したウィンドウに画面を拡大して表示

どのモードにおいても、**⊙**をクリックすると細かい設定が可能です。拡大鏡ツールバーは時間が経つと虫眼鏡のアイコンに変わるので、再度ツールバーを表示させたい場合は、このアイコンをクリックして下さい。

また“固定”モードの拡大鏡ウィンドウは、モニター上の任意の場所に任意の大きさで表示させることができますが、ドラッグしているマウスポインタがモニター画面の端に触れるとその辺で拡大鏡ウィンドウが固定されます。ここでひとつ注意点が。固定モードで拡大鏡ウィンドウをどの辺にも固定させず終了し、再度『拡大鏡』を起動した場合、アプリケーションのウィンドウを最大化するとタスクバーの下にウィンドウが入り込んでしまい、ステータスバーなどが隠れてしまう現象が確認されています。『拡大鏡』を終了しても戻りません。この現象が起きたら、『拡大鏡』を起動して“固定”モードの拡大鏡ウィンドウをモニター画面の辺に固定させてみて下さい。『拡大鏡』を終了するには、拡大鏡ツールバーの[閉じる]ボタンをクリックするか、[Windows]+ESCキーを押します。

◆チラシ・フライヤー・会社案内・名刺などの デザイン制作・印刷 お任せください！！

- ◎パソコントラブル御相談下さい！
- ◎パソコン本体・周辺機器、格安にご提供させて頂きます！
- ◎パソコン教室無料体験実施中！

◎使い切ったインクカートリッジの回収！
ご協力お願いします！

◎ホームページ制作お任せ下さい！
更新が出来なくてなんとかしたい方！
今あるホームページの編集作業もお任せ！！



株式会社 マデコム

〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1
TEL : 059-366-0888
FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : <http://www.madecom.co.jp>
発行 : 2012年6月1日
編集・作成 : 早川尚孝 / 中川香